



仕事に対する心構え

ヴォ ティ フォン チャン
VO THI PHUONG TRANG

私はベトナムの南部の貧しい田舎で生まれ育ちました。私の家族は典型的なベトナムの家族です。父は農夫です。いつも早くに家を出て、遅くに戻ってきます。とても心配です。母は主婦です。家族ため、自分の将来のために決心をして、日本に来ました。

2016年10月3日、実習生として日本にきましたが、それまでベトナムの日本語の学校で勉強していました。日本語を習い始めた頃はとても難しかったです。でも、目指すべき所に近道は存在しません。日本へ行くために僅かな時間で、でき得る限り多くの事を学びました。

日本に来た当初は前途の困難を覚悟していました。想像とは違い日本語が通じなくて、がっかりしました。どんな言葉でも言い表わせませんでした。会話も出来ないし、日本語も上達しなくて、深い郷愁の気持ちになりました。

私の仕事は金型の仕上げ作業です。専門用語がたくさんあります。殆ど本に書いてありません。皆さんはいろいろな事を教えてくれました。特に、仕事に対する心構えです。お客さんや上司に言われた事を間違いなく、言う通りやる事は仕事ではありません。それは作業です。作業をするのは誰でも良いです。自分しか出来ない価値のある事を作業の先に生み出す事が仕事です。仕事とは自分以外の誰かのためにする事で、作業の結果で誰かが幸せになる事を仕事と言います。他の誰かのために真心を込めて作

業する事により、価値あるものが生まれます。相手に喜び、安心を与える事につながります。自分には自信を与えます。皆で価値を生み出し、たくさんの人を幸せに感謝される喜びを分かち合えたらと思います。日本人は集団を貴ぶ価値観です。日本人によれば、それは成功への道のりだそうです。世界では、日本人は働くために生まれてきたとよく言っています。

ある日、「チャンさん！明日の仕事は何ですか？」と聞かれました。その時私は顔が真赤になって、本当に分かりませんでした。答えられませんでした。そして「チャンさん！料理ではね、冷蔵庫に野菜がなくなって買いに行きますか？野菜がもうすぐなくなる前に買いに行きますか？どちらですか？」と聞かれました。私は野菜がなくなる前に買いに行きます。と言いました。「その事を仕事の場合にも当てはめてください」と言われました。私の考え方は変わりました。自分の仕事に責任を持つべきだと思います。日本での技能実習は始まったばかりです。この先、困難な事があるかもしれません。ですが、ベトナムの代表としての責任を強く感じて精一杯頑張りたいと思っています。日本は昔から「千里の道も一歩から」ということわざがあります。だから、困難を克服できると思います。全ては練習の積み重ねのなかにあります。そして今、私は自分自身のレベルを上げるために、練習しています。